

〇〇さん、富山県代表としての、かごしま国体への出場。素晴らしいです。高いレベルでの競い合いになると思います。自分のペースで集中力を高め、満足できる泳ぎになるよう応援しています。がんばってください。

さて、新人大会、アートワーク大会に臨むみなさん。3年生が抜けて、これまでと異なる体制で臨む大会となります。みなさん、どんな「姿勢」で臨もうとしていますか。

わたしの思い出を一つ話します。

ある学校へ異動になって、練習試合も経験したことがない運動部を担当したことがあります。申し込んでも断られることが多かったようです。新チームになった時、2年生のキャプテンに「他のチームに勝てそうなところはどこ？」と聞きました。プレイの面での答えを期待していたのですが、返ってきたのは、「先生、挨拶くらいしか勝負できません」という答えでした。ちょっとがっかりしましたが、他に勝てるところがないというのも事実だったので、挨拶を頑張ってみようと思組みました。練習開始の挨拶、先生への挨拶、迎えに来られた保護者の方への挨拶、他校の指導者にも挨拶、部活以外の授業などでも元気に挨拶…。確かに頑張っていました。

すると、面白いもので、元気に挨拶をしていると、たくさん応援されるようになっていきました。試合には負けるんですが、いろいろな練習会に誘ってもらえるようにもなりました。多くの経験をすることで少しずつ実力も付いてきました。漫画の話ではないので、何かの大会で優勝した、とかいうシナリオではありませんが、先生方からも保護者からも練習試合をした指導者からも、応援していただけるチームになりました。先日、パリオリンピックの出場権を獲得したバスケット日本代表チームが口を揃えて言っていたように、応援の力は本当に偉大なのです。

「今度の城端はどうなの？」他校の人たちや保護者の方はきっと注目しておられます。ここにいる3年生も、そう思っているのではないのでしょうか。みなさんは、大会で、新しいチームのどんな姿を示してきますか。

競技や試合の日、場所は違っても、城端中学校のみんなが応援してくれていることを忘れず、がんばってきてください。